



No. 71

2009. 3.

夏秋イチゴの新品種 「サマーアミーゴ」

はじめに

「サマーアミーゴ」は、農業研究所で育成した四季成り性イチゴの新品種です。平成17年に「徳系2号」(「みよし」×「久留米48号」)×「サマーベリー」の実生選抜株を子房親に、「サマーフェアリー」を花粉親として交配し、現地試験等で選抜を重ね優良な系統を育成しました。平成20年12月に品種登録出願(出願番号第23221号)し、平成21年2月23日に出願公表されたのでその特性等を紹介します。

「サマーアミーゴ」の特性

この品種は、四季成り性のため夏秋でも開花・結実する。
高標高地域で4月上旬に定植すると6月中旬～12月上旬まで連続収穫できる。
草勢はやや強く、ランナー数は促成品種に比べてやや少ない。
果形は円錐、果皮色は淡紅～赤で、光沢が強い。果肉色は橙赤である。
糖度はやや低い、酸度は低く香りがよい。
果実はやや硬く、日持ちおよび輸送性が良く業務用に適する。
花数、果実数は少ないが、果実が大きいので収量が多く省力的な品種である。
うどんこ病には主要品種「サマーフェアリー」より強く耐病性がある。



図1 「サマーアミーゴ」果実



図2 「サマーアミーゴ」草姿

問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター

TEL (0883) 72 - 0239

農業研究所

中山間担当

FAX (0883) 72 - 6868

<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>